

ユニセフ活動の手引き



第67回 ユニセフ学校募金にご協力ください

子ども先生の広場

検索



お問い合わせ



公益財団法人
日本ユニセフ協会

学校でのSDGs学習に!

ユニセフ活動を通してグローバルな視点で地球の今を知り、未来を考え、自分たちにできることを行動に変えていこう

授業で使える!

2022年度

ユニセフ学校募金 春季資料

ユニセフDVD学習教材

- ① すべての子どもに、安全で持続可能な未来と希望を～気候変動への対応～(3分25秒)
- ② 学校への復帰、でも夢を追い続けるアフリカ少女(エリソ)(1分57秒)
- ③ 安養不動から回復し、元気になれたエリック君(アフリカ)(1分29秒)
- ④ シリア紛争10年～片手を失ったサザンの夢、その手～(1分35秒)
- ⑤ ハーバード社会経済実習～世界の貧困問題を見てみよう～(2分23秒)
- ⑥ unicef × Fridays For Future気候変動に拘泥するユースたち～(2分11秒)
- ⑦ あなたはどんな未来をえがきますか?～SDGsが生まれた背景とこれから～(1分56秒)
- ⑧ ユニセフと地球のともだち(1分26秒)
- ⑨ 基本「ユニセフとえがおのひみつ」読み聞かせ(1分56秒)
- ⑩ 100人の旅(1分56秒)

unicef

公益財団法人 日本ユニセフ協会

Pressed in Japan

ユニセフ学習教材 DVD

「あなたはどんな未来をえがきますか?～SDGsが生まれた背景とこれから～」の動画を収録!

入ってます!

便利なツール満載!

各種申込書・依頼書入り

- ユニセフ資料申込書
- ユニセフハウス訪問依頼書
- 街頭募金申請依頼書
- 講師派遣依頼書 等



あなたは□に何をいれますか？

すべての子どもに、□を。

—わたしたちの持続可能な未来のために—

気候変動が世界中でさまざまな災害や環境の変化を引き起こしています。気候変動の影響を最も受けるのは、脆弱な地域に暮らす子どもたちです。気候変動は非常に不公平なもので、原因となる温室効果ガス(CO₂)の排出量が多い国よりも少ない国の方が深刻な影響を受けています。気候・環境汚染の脆弱性が最も高い33カ国の合計CO₂排出量は、世界の排出量のわずか9%にすぎません。*

いま、世界の子どもたちはどんな課題に直面しているのでしょうか？
そして、わたしたちにできることは何でしょうか？ぜひ、ユニセフと一緒に考えてください。

河川の洪水の危険が高い地域で暮らす子どもは世界に3億3000万人



東アフリカの国 ブルンジ

©UNICEF/UN0436094/Prinsloo

地球温暖化 —— とける海氷



アメリカ最北端の州 アラスカ

©UNICEF/UN0445445/Sokhin

相次ぐ自然災害



東南アジアの国 フィリピン

©UNICEF/UN0570018/Hogsholt

紛争と自然災害 —— 二重の被害



中東の国 シリア

©UNICEF/UN0405690/Akacha

行動する子どもたち



南アジアの国 バングラデシュ

©UNICEF/UN0540748/Mawa

気候変動の危機に立ち向かうために、多くの子どもや若者が行動を起こしています。



中部アフリカの国 コンゴ民主共和国

©UNICEF/UN0370154/Wenga

11月20日の「世界子どもの日」に、気候変動や環境の悪化から未来の世代を守ろうと呼びかけるイベントが開かれ、子どもたちによる記念の植樹が行われました。



東アジアの国 日本

東京都の立川市立立川第七中学校の生徒たちは、「世界の厳しい環境に暮らす子どもたちのために、自分たちにできること」と2005年から街頭募金活動を続けています。

©日本ユニセフ協会

持続可能な未来のために、いま、行動しよう！

※出典：<https://www.unicef.or.jp/news/2021/0163.html>

ユニセフ活動の手引き

目次

01 はじめてみよう！ユニセフ活動

いま、学校での「ユニセフ活動」が果たす役割 1

02 ユニセフについて知りたい

ユニセフってなに 3

世界の子どもたちは、いま 5

03 「子どもの権利」を実現するってどんなこと？

日本でも！「子どもの権利条約」を生かした学校・園づくり 7

04 募金活動をしたい

学校やイベントで募金活動をする 9

街頭募金活動をする 11

募金の種類 13

05 活動を終えてから

We Support UNICEF賞 15

06 修学旅行・社会科見学でユニセフハウスを訪問したい

ユニセフハウス展示見学 17

07 講演会や授業への講師派遣を利用したい

講師派遣・オンライン授業 19

08 学校で使える資料・教材・ウェブサイト

「知る」「考える」ための方法とツール 21

ユニセフ視聴覚ライブラリーと貸出教材 25

09 ユニセフ視聴覚ライブラリーを利用したい

全国の貸出機関と協定地域組織 29

10 募金の送金方法を知りたい

募金の送金方法 31

□各種申込用紙



付録 DVD・動画紹介

卷末

いま、学校での「ユニセフ活動」が果たす役割

「持続可能な社会の創り手」を育てるために

一人一人の児童/生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的变化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手となることができるよう**にすることが求められる。

<学習指導要領 前文より>

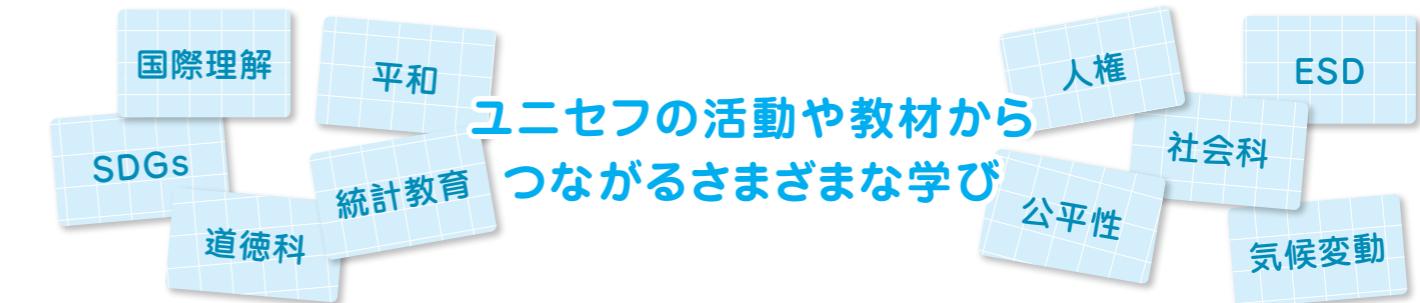
学習指導要領にも「持続可能な社会の創り手の育成」が掲げられ、SDGs(持続可能な開発目標)の学習に取り組まれている学校も多いのではないでしょうか。

貧困、飢餓、紛争…世界には、今この瞬間も、命と健やかな成長を脅かされている子どもたちがたくさんいます。また、気候変動や環境汚染など、人類の持続可能な地球での生活を脅かす課題も深刻さを増しています。そして、そのようななか、2020年に発生した新型コロナウイルスのパンデミックは、日本の子どもたちが、世界が自分たちと繋がっていることを強く意識するきっかけにもなったのではないかと思います。

ユニセフは、世界中すべての子どもたちの命と権利を守るために活動している国連機関です。ユニセフの資料・教材や学校でのユニセフ活動は、子どもたちが世界の課題を「自分事」として捉え、自分たちにできることは何かを考え、行動する機会を提供します。そこにはかならず“主体的で対話的な深い学び”が生まれるはずです。

学校で取り組む「ユニセフ活動」には次のような側面があります

- ✓ 同じ年頃の世界の子どもたちの状況を知り、そこから自分たちが暮らす世界のようすを知ることができます。
- ✓ 世界の厳しい状況下の子どもたちと比べて、よりチャンスの多い日本での自分たちの暮らしが、どのような人々の努力や仕組みに支えられているのか、気づくことができます。
- ✓ 世界の子どもたちを支援するためにユニセフがどのように活動しているか、また、子どもたちの未来を守る持続可能な世界を築くための取り組みを知ることは、社会や世界の困難な課題に立ち向かう方法を知ることにつながります。
- ✓ 自分たちにできることを考え、具体的な行動を企画し、実践することで、実際に変化を起こすために自ら動くことの大切さを学ぶことができます。
- ✓ 子どもたちによる行動が、学校内だけでなく、家族、周辺のコミュニティ、大人たちに影響を与えられることを知ります。



ユニセフ活動の流れ(案)

ねらい

毎年取り組んでいる「ユニセフ学校募金活動」の意義を再確認し、募金活動をグローバルな視野をはぐくむ深い学びにつなげる

世界の子どもたちの現状やユニセフの活動について知る・学ぶ

クラスで話し合い、さらに詳しく調べ、自分たちにできることを考える

募金活動や多くの人に伝える活動を展開する

活動のまとめや協力してくれた人たちへの報告をする

学校からの声

地域の20店舗と一緒に活動を行いました。各店舗のSDGsについての取り組みを生徒が取材してポスターを制作し、来店者にアピールするというのが趣旨でしたが、アクションとしてお店側のご協力もいただき、店頭での募金活動もさせていただきました。学校と地域そして国連機関のつながりを持てたことが大きな収穫でした。事前に神奈川県ユニセフ協会の講師派遣も利用しました。生徒たちの呼びかけに街の方が温かく耳を傾けてくださり、多くの募金をいただくことができました。生徒たちからは「ユニセフについて聞かれたときにきちんと答えられなかつたこともいっぱいあったので、もっときちんと調べておけばよかった」「SDGsについて知らない人もいたので、もっと広めたい」など今後への意欲が感じられました。

横浜女学院中学高等学校(神奈川県)

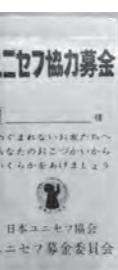
幼稚園からの声

昨年は、幼稚園全体で水の大切さについて考える活動を行いました。夏にユニセフの動画と絵本を通して、世界にはきれいな水を使えない人や遠くまで水を汲みに行っている人がいることを知りました。それぞれの学年ごとに、一日に捨てている水がどのくらいか調べたり、雨水を貯めて畠の水やりをしたり、水の大切さを自分で感じられるように活動し、保護者にも積極的に発信しました。活動を進める中で、ひとりひとりが水を大切に使おうとする意識が高まりました。年長児から「自分たちも何かできることをしたい」という声があがり、11月、クリスマスに向けて、募金活動をすることになりました。半年間、水について考えて過ごしてきたので子どもたちの意識も高く、各家庭から思いの詰まった募金が届きました。

中野マリア幼稚園(長野県)

ユニセフ募金のはじまり

第二次世界大戦後、日本でも多くの子どもたちが厳しい暮らしを送っていました。1946年に国際連合の初の会議で創設されたユニセフは、1949年からの15年間、日本の子どもたちにも粉ミルクや衣類の原料となる原綿、医薬品など、当時の金額で65億円もの支援を送ってくれました。その支援へのお礼の手紙に、子どもたちが添えた大切な10円玉、これが日本におけるユニセフ募金の始まりです。子どもたちのあたたかな思いから始まったユニセフ学校募金は、今年で67年目を迎え、今も日本の子どもたちと世界の子どもたちを繋ぎ続けています。



世界の子どもたちは、いま

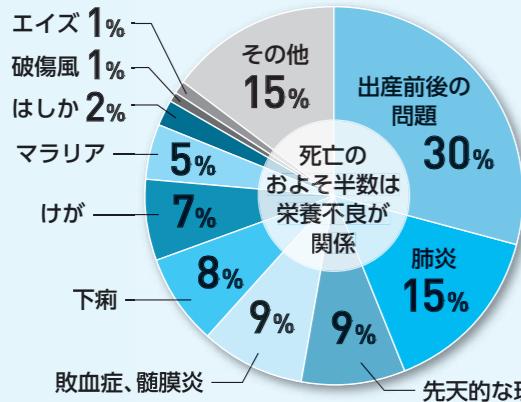
生まれた国や地域によって、さまざまな危機や困難に直面している子どもたちがいます。

数字で見る世界の子どもたち



5歳をむかえる前に命をうしなう子どもは年間520万人^{*1}

子どもたちが命をうしなう原因^{*2}
(割合は四捨五入しているため、100%にならない場合があります。)



世界の5歳未満児の22%
予防や治療ができる原因で多くの子どもたちが命をうなっていることがわかります。



児童労働を強いられている5~17歳の子どもは世界で1億6,000万人^{*4}



イエメン。鋳造屋で働く12歳のアヌス君。働く時間は一日11時間。学校には行っていません。
© UNICEF/UN0455064/AI-Quliah

これまで減少傾向にあり、2016年には1億5,200万人でしたが、新型コロナウイルスの影響を受け増加に転じました。



小学校就学年齢にもかかわらず小学校に通っていない子どもの数は世界で5,900万人^{*5}



斐济。サイクロンで被災した学校の図書館で。自然災害や紛争によって多くの学校が破壊されています。
© UNICEF/UN0396379/Stephen/Infinity

新型コロナウイルスの感染拡大によって、一時最大15億人が休校の影響をうけました。

危機下の子どもたち

地図で青くぬられている国は、人道支援のための資金を緊急に必要としている国です。

ここで取りあげている国・地域は報告書『子どもたちのための人道支援報告書(Humanitarian Action for Children-HAC)2022年』より抜粋
※ウクライナについては日本ユニセフ協会プレスリリース(2022年2月24日および26日発)より抜粋

欧州 保護を求めるたくさんの難民・移民

ミャンマー

民政への移管が進められていたミャンマーで、国軍によるクーデターが起き、国は未曾有の政治的・人道的危機に直面している。さらに新型コロナウイルスや、気候変動による自然災害の増加、貧困の拡大、公共サービスの崩壊などで、1,440万人(うち500万人が子ども)が人道支援を必要としている。



マダガスカル

南部では気候変動で雨が降らず、干ばつが長引き、飢餓が起きている。150万人近くが食糧不足に陥っており、5歳未満の子ども、50万人が急性栄養不良になると予測されている。

ハイチ

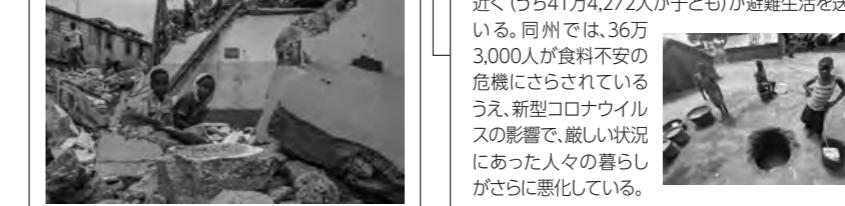
自然災害、長引く政治・経済危機、ギャングによる治安の悪化、新型コロナウイルス感染症など、人々は複合的で絡み合う問題の影響を受けている。推定295万人が緊急の保健ケアを、79万7,000人の子どもたちが教育支援を必要としている。



崩壊した建物の瓦礫の上に座る子どもたち。2021年8月14日、マグニチュード7.2の地震が発生。120万人が被害を受けた。
© UNICEF/UN0518510/Haro

モザンビーク

人道危機が続くカボ・デルガド州では、85万6,000人近く(うち41万4,272人が子ども)が避難生活を送っている。同州では、36万3,000人が食料不安の危機にさらされているうえ、新型コロナウイルスの影響で、厳しい状況にあった人々の暮らしがさらに悪化している。



カボ・デルガド州の村で、井戸から水を汲む子どもたち。ここには紛争により家を失った人たちを受け入れる仮設住居がある。
© UNICEF/UN0437463/Mercado

東部アフリカ 長期化する人道危機

(ソマリア、南スーダン)

ソマリアでは子どもたちが適切な保護を受けられない状況が拡大しており、2022年には770万人(うち500万人が子ども)が人道支援を必要とすることが予想される。南スーダンでは長引く紛争、社会のもうさ、教育や保健など基本的なサービスの不備が子どもたちの暮らしを脅している。2022年には830万人以上(うち子ども450万人)が基本的な生活のニーズを満たすための人道支援を必要とすると予想される。



紛争から逃れ、避難生活を送る母と娘。定期的にユニセフの保健センターを訪れ、栄養治療を受けている。
© UNICEF/UN0471308/Taxta

アフガニスタン

2021年夏の治安情勢の変化により、社会の不安定さが以前にもまして高まっている。2021年12月時点で2,440万人(うち子ども1,260万人)が人道支援を必要としている。児童婚や児童労働という手段に頼らざるを得なくなっている家庭も多く、学齢期の子どものうち420万人がすでに学校に通っていない。また、国民の10人に8人が安全な水入手できない状況にあり、感染症や下痢性疾患の流行が保健サービスを圧迫している。食糧不足も深刻で110万人の子どもたちが重度の急性栄養不良で命を落とす危険にさらされている。



テントで避難生活を送る子どもたち。「子どもたちにパンも服も買うことができません」と子どもたちの父親、シャーさんは語る。仕事を見つけるためにここへ来たが、移動先でも状況は厳しく、今後の希望がもてないままである。
© UNICEF/UN0574503/Bidel

エチオピア

北部で軍事衝突が発生して以来、広範囲にわたって戦闘が続いている、人道支援の必要性が高まっている。2,940万人以上(うち1,560万人が子ども)が緊急人道支援を必要としている。



双子を見守るメブラクさん。北部ティグライ州での爆撃が始まる中、二人を産んだ。その後、子どもたちを抱え、夜中に隣国スーダンへと逃れた。
© UNICEF/UN0403276/Abdalkarim

*1 Levels and Trends in Child Mortality 2020 *2 Levels and Trends in Child Mortality 2019

*3 UNICEF-WHO-The World Bank Joint Child Malnutrition Estimates-2021 edition *4 Child Labour: Global estimates 2020, trends and the road forward

*5 UNESCO Fact Sheet no.56 September 2019 *6 Progress on household drinking water and sanitation and hygiene 2000 – 2020

「子どもの権利条約」を生かした学校・園づくり

Child Rights Education(CRE)～子どもの権利を大切にする教育～

子どもたちが一日の多くの時間を過ごし、学力だけでなく、身心の発達のために重要な役割を担う学校・園。ユニセフは、教育現場における子どもの権利の推進を目指し、世界各国で「Child Rights Education(CRE):子どもの権利を大切にする教育」を提唱しています。

すべての子どもの基本的人権を国際的に保障するために、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」。日本はこの条約を1994年に批准しています。日本の子どもたちも「子どもの権利」の主体者です。

学校のユニセフ活動では、世界の子どもたちが直面する課題を学んだり、その子どもたちの権利を守るためにできることを考え、募金活動を実施したりしますが、その前提として、子どもも先生も「人権」や「子どもの権利」を理解し、人権尊重の態度を養うこと、また、権利が実現される環境や学びを共につくっていくことが、とても重要です。

子どもたちが自らの権利や人権に対する理解を深め、持続可能な社会の担い手として成長していくために、みなさんの学校でも、「子どもの権利条約」を生かした学級経営や学校・園づくりに取り組んでみませんか？



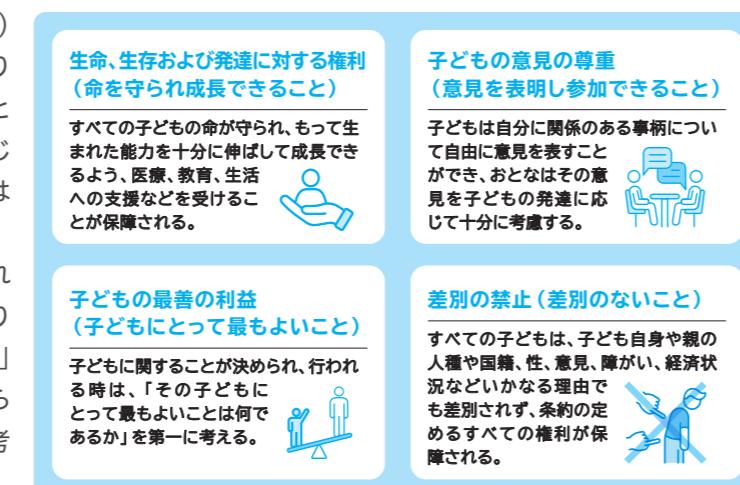
「子どもの権利条約」全文（政府訳）
https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig_all.html

「子どもの権利条約」日本ユニセフ協会抄訳
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/kenri/syo1-8.html>

「子どもの権利条約」と4つの原則

「子どもの権利条約」では、18歳未満の児童（子ども）を権利をもつ主体と位置づけ、おとなと同様にひとりの人間としての人権を認めています。また同時に、おとなへと成長する過程において、子どもには年齢に応じた保護や配慮が必要な面もあるため、子どもならではの権利も定めています。

子どもの権利を尊重し実践していく上では、常に忘れてはならない「子どもの権利条約」の4つの原則があります。この4つの原則は、それぞれ「子どもの権利条約」の条文に書かれた権利であると同時に、条約で定められている他の権利を考えるときにも、常に合わせて考えることが大切です。



「子どもの権利条約」4つの原則

子どもの権利が守られる社会

国が条約を批准することは大きな一歩です。しかし、批准しただけでは子どもの権利が守られるようにはなりません。国の司法や行政だけでなく、先生方や保護者など子どもに関わるすべての人に、この条約に記された権利が実現されるように取り組むことが求められています。

日本の子どもたちの抱える問題としてよく取り上げられる、いじめや差別、自己肯定感の低さや無力感なども、子どもの権利に深く関わる問題です。「子どもの権利条約」の原則が守られ、子どもたちが安心して日々を過ごしながら健やかに成長し、その可能性や能力を十分に伸ばすことのできる社会。それがユニセフの提唱する、子どもの権利が守られる社会の姿です。

子どもの権利を大切にする教育とは？

「Child Rights Education(CRE):子どもの権利を大切にする教育」は、学校・園での教育活動のあらゆる場面において、子どもの権利を推進していくことを目指します。その取り組みは主に4つの側面で構成されています。

● 権利としての学び

すべての子どもに、あらゆる差別なく公平に教育を受ける権利があります。すべての子どもが質の高い義務教育を受けられること、またその後の成長過程においても学ぶ機会が与えられることが、保障されなければなりません。

● 権利についての学び

学校での授業や活動を通して、人権や「子どもの権利条約」について学びます。子どもたちは自らの権利について知ると同時に、他の子どもたちにも同じ権利があることに気づき、多様性を認め、お互いを尊重しあう態度を身につけていきます。また、人権の学びを通しておとなにも権利があることを知り、おとなと子どもの相互の尊重にもつながります。

● 権利を通しての学び

学校・園のあらゆる面で「子どもの権利条約」の精神を尊重した環境を整えていきます。常に子どもの最善の利益が考慮されること。すべての子どもが差別や偏見、暴力から守られること。子どもの声に真剣に耳を傾けること。これらを実践していくことで、子どもたちは自らの権利と尊厳が守られた環境で学び、その可能性を伸ばしていくことができます。

● 権利のための学び

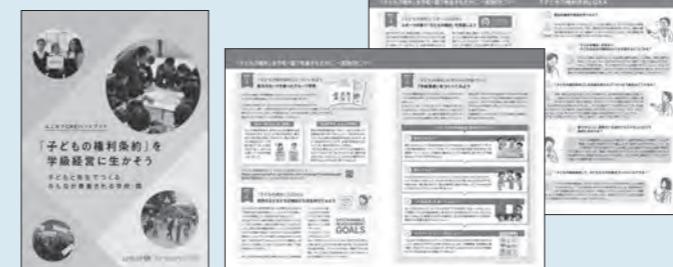
子どもたちが自らの権利について学び、権利が尊重された環境で学ぶことは、他者の権利にも目を向け、行動する学びへつながります。地域社会や国際社会に目を向け活動することで、社会に貢献する力を培い、持続可能な社会の担い手としての成長につながります。

よりよい学校・園づくりのため、そして子どもたちの健やかな成長のために、下記、関連資料もご覧の上、ぜひこの「Child Rights Education(CRE):子どもの権利を大切にする教育」を取り入れてみてください。

CRE関連資料の紹介

ユニセフCREハンドブック 「子どもの権利条約」を学級経営に生かそう

「子どもの権利条約」やCREについて、実践のヒントも交えて簡潔に紹介しています。



先生向けCREウェブサイト OPEN!



www.unicef.or.jp/kodomo/cre/

「ユニセフCREハンドブック」の内容の他、学校・園で役立つCRE関連の情報を随時、更新していく予定です。ぜひ、ご活用ください。



学校やイベントで募金活動をする

ユニセフ募金は、世界の同じ世代の仲間たちのために、みなさんができる大切な活動のひとつです。募金活動を通じて、多くの人たちに世界の子どもたちが直面する課題を知ってもらったり、活動に共感してもらったりできれば、協力の輪が広がります。みんなの取り組みは、世界を変える一歩になります！

校内・校外での募金活動

- 校内で活動する場合にも、保護者や地域のみなさんにもご理解いただき、協力してもらえるような働きかけを考えてみましょう。
- 校外に出て一般の方々に協力を呼びかける街頭募金活動は、大きな協力を集められるだけでなく、多くの学びにつながる方法です。（→P.11「街頭募金活動をする」）
- 募金箱や呼びかけポスター、ありがとうチラシなどの活動ツールを工夫して作るとモチベーションが高まります。
- 『〇〇（支援物資）△個分の募金****円を目標に呼びかけよう』など、目標を決めて取り組むと、成果がわかりやすくなり、活動の振り返りや報告にも役立ちます。
- 運動会、学習発表会などの催事の際に活動することも効果的です。

Tip! ユニセフのDVD教材を活用して、校内募金活動をしました！

募金活動をする前に、5・6年生の代表委員会がユニセフや募金の意義を伝えるプレゼンテーション動画を制作し、各クラスに配信しました。初めての試みで右往左往したこともありました。しかし、ユニセフのDVD教材を活用し、募金活動にいたりました。活動後に、6年生の数名が「将来、ユニセフのように、人の役に立てる職につきたい」と話していました。また来年もしてみたいと思います。（報告：関本和也教諭）

羽曳野市立古市小学校（大阪府）



バザー、フリーマーケットなど物販を通じて

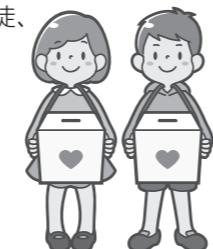
中古品や未使用品、地域の特産品、自分たちで育てた農産物や工夫して作ったものなどを売るバザーやフリーマーケットを開いてみましょう。売り上げをユニセフに寄付することを伝えながら活動します。募金箱を置いてみたり、学習の成果を展示したりしながら実施することも効果的です。外部からの訪問者が多い文化祭・学園祭は、こうした活動の絶好の機会になります。（右ページの「文化祭ユニセフセット」をご活用ください！）

リサイクル活動と連携して

缶やびん、ペットボトル、古新聞、ダンボール、牛乳パック、インクカートリッジなど、リサイクル事業者が対価を払って引き取ってくれる場合がありますので、売り上げを募金することができます。書き損じはがきや未使用の切手は郵便局で1枚5円の手数料で新しいはがきや切手に交換することができます。新しいはがきや切手を周囲の方や取扱店で買い取ってもらえば、その代金を募金することができます。

PTA活動と連携して

PTAで行われているバザーやお楽しみ会等、さまざまな活動をユニセフ支援につなげてみませんか。募金活動の前に、家庭教育学級や親子教室、講演会でユニセフ教室（→P.19「講師派遣・オンライン授業」）を開催するなど、児童・生徒、地域が一緒になって、世界の子どもたちの幸せや世界の課題に目を向けるきっかけにもなります。



送信先：(公財)日本ユニセフ協会 行

FAX : 03-5789-2034 TEL : 03-5789-2014 Eメール : se-jcu@unicef.or.jp

＜申込日 年 月 日＞

文化祭ユニセフセット 申込用紙

文化祭・学園祭をユニセフ協力の機会に！

思いを伝え、協力を広げる絶好のチャンス！

文化祭・学園祭は、みなさんが学習したり、考えたりしてきたことを多くの人に伝えられる良い機会です。楽しい模擬店の活動も、売り上げが寄付となり世界の子どもたちの笑顔につながるしたら、もっと多くの方と幅広い交流が生まれそうです。チャリティコンサートを開いたり、お芝居を披露したり、みんなのさまざまな才能を生かして支援につなげることもできます。今年の文化祭・学園祭をユニセフ色に彩って、世界の子どもたちとつながる機会にしてみませんか？

活動に取り組むみなさんを応援!!

文化祭ユニセフセットをご活用ください

文化祭・学園祭の機会にユニセフ募金活動をしてくださるみなさんに、使いやすいポスターや募金箱をセットにして、無料（資料実費・送料ともに）でご提供いたします。※文化祭・学園祭以外でもお使いいただけます

文化祭ユニセフセット基本内容

- 募金呼びかけポスター 3種類 各1枚
- 募金箱（厚紙製・組み立て式） 2箱
- ポスターSET「ユニセフってなあに？」 1セット
- 配布チラシ 100枚

ユニセフの活動や世界の子どもたちが直面する課題が10枚のポスターで描かれています。（詳しくは→P.27）



学校 / 園名			
ご担当者名（職）	（ ）		
ご住所	〒	都・道 府・県	
電話	（ ）	FAX	（ ）
Eメール			
活動日			
活動される方 主な活動予定内容			
ご要望等	<small>※上記セット内容の資料の部数の変更や、追加の資料をご希望の場合は、こちらに資料名と希望部数をお書きください ※1週間ほどでお届けします</small>		

街頭募金活動をする

校外に出で一般の方に募金の協力を呼びかける街頭募金活動には、多くの学びがあります。必要な手続きを取り、安全に配慮すれば、それほど難しい活動ではありません。ぜひ、ご検討ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、安全に十分配慮してご検討ください。



自分たちは良いことをやっていると思って募金を呼びかけるのに、思ったように募金を入れてもらえなかったり、逆に地域の方があたたかい言葉をかけてくださったり。募金活動の主体となることで、活動を自分ごととしてとらえられる、自分の殻をやぶって人と関わることができ、社会のさまざまな人の考えを知る、といったさまざまな発見・経験がありました。
(街頭募金を経験された先生談)

街頭募金の進め方

1 「街頭募金実施計画書・申請依頼書」(右ページ)に記入し、FAXまたはメールでお送りください。

2 敷地利用申請など、活動の場所に応じて、必要な申請を行います。

・駅で実施する場合

鉄道(駅)の敷地を使用する場合には、駅に「駅敷地使用許可申請」が必要です。東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県の鉄道においては、日本ユニセフ協会が書類のとりまとめ窓口となり、各鉄道会社に手続きをしています。手続きに時間がかかるため、右表の通り、**実施日の2カ月前まで**に1の依頼書をお送りください。上記の都県以外の鉄道駅については、各学校から直接、駅にお問い合わせのうえ、ご申請をお願いいたします。

・公道の場合

駅前ロータリーなど公道を利用する場合には、学校から警察に「道路使用許可申請」を行ってください。

・店舗の場合

店舗内あるいは店舗の敷地内を利用したい場合には、各店舗の許可を得てください。



3 当協会から募金活動用のツールが届きます。

工夫して手作りした募金箱やポスターを加えると、みなさんのメッセージが伝わりやすくなります。

4 街頭募金活動当日

活動は、校長先生の許可のもと、各校の責任において実施してください。街頭募金活動は、児童・生徒のみなさんだけでは行わず、必ず先生または保護者の方と一緒にに行ってください。通行を妨げない、点字ブロックの上で行わない、などにも注意してください。また学校名を名乗るなど、学校の活動として実施していることを伝えましょう。

実りある活動が安全に実施できるよう、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

5 送金と報告

集まりました募金は、巻末の振込用紙を使用し、郵便局からご送金ください。

後日、掲示板や学校新聞、ホームページなどを通じて、ご協力くださったみなさまへ募金額の報告やお礼を伝えてみましょう。

また、We Support UNICEF賞(→P.15)の申し込みなどを通じて、募金活動のようすや活動を通して感じたことなどを日本ユニセフ協会にもお知らせくださいと幸いです。



いくらでどんなことができるかを具体的に伝えてみましょう。また、活動でどれくらいの支援を目標にするか決めて、みんなでその目標に向けて呼びかけてみましょう。

例

「あなたの100円が子どもたちをポリオから守るワクチン〇回分になります!」

「〇〇〇円の募金を集めて、世界の子どもたちに栄養治療食〇〇包を届けたいと思います!」

※支援物資を選んで募金ができる「ユニセフ支援ギフト」(→P.14)もチェック!

送信先：日本ユニセフ協会 学校事業部 行

FAX: 03-5789-2034 TEL: 03-5789-2014 Eメール: se-jcu@unicef.or.jp

<申請日 年 月 日>

街頭募金実施計画書・申請依頼書

街頭募金実施場所

□駅敷地

※東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県内の駅については日本ユニセフ協会でまとめて申請します。

実施駅	実施日時	参加人数
線 駅 □	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名
線 駅 □	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名
線 駅 □	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名

□その他の公道(駅周辺)・店舗(店舗名・所在地)・その他(公園等)実施予定地

実施場所	実施日時	参加人数
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒：名 同伴：名

□公道で実施される予定で、警察署への「道路使用許可申請に伴う手数料の減免のお願い」が必要な場合はチェックを入れてください。

学校情報

学校 / 園名			
学校長 / 園長名	印		
ご担当者名(職)	()		
ご住所	〒 都・道 府・県		
Eメール			
電話	()	FAX	()

資料請求

□厚紙製募金箱 個 ※募金箱は手作りしていただいて構いません。

□振込用紙 枚

□ポスター 枚

□配布用チラシ 枚

□その他()

花やハーブの
種つき



配布用チラシ

※この用紙は日本ユニセフ協会が使用するものであり、駅等に直接申請をされる場合にはご利用になれません。

募金の種類

「通常募金(ユニセフ募金)」のほか、「緊急・復興募金」「支援ギフト」など、支援先を選べる募金も受け付けています。ユニセフ募金活動を計画する際には、どんな目的のために実施するかを考え、「世界の子どものために」「気候変動の影響を受けている子どもたちのために」など呼びかけの文言も合わせて考えてみましょう。

通常募金(ユニセフ募金)

世界の子どもたちのために!
ご協力をお願いします!



© UNICEF/UNI78184/Siddique

ユニセフに使途をお任せいただく募金です。150以上の国と地域の子どもたちのためにユニセフが行っている支援活動全般に大切に活用されます。

緊急・復興募金

紛争の影響を受けている
子どもたちのために!



© UNICEF/UN0264879/al Mussawir - Ramzi Haider



ユニセフ緊急募金

災害や紛争などの非常事態下の子どもたちへの緊急・復興支援のための募金です。2022年3月現在、受け付けてる緊急募金は「ウクライナ緊急募金」「新型コロナウイルス緊急募金」「自然災害緊急募金」「シリア緊急募金」「アフリカ栄養危機緊急募金」「ロヒンギヤ難民緊急募金」「人道危機緊急募金」の7つですが、募金の性質上、終了することがございますので、活動前に必ず最新の情報をホームページでご確認ください。

「緊急支援情報」 www.unicef.or.jp/kinkyu/

※ご送金の際、振込用紙の通信欄に緊急募金名(「ウクライナ」「新型コロナ」など)をご記入ください。

分野・地域指定募金

世界の子どもが
安全な水を使えるように!



© UNICEF/UN0263246/Ramasomanana

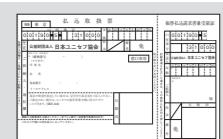


水と衛生募金

特定の活動分野や地域を指定して支援する募金です。2022年3月現在、「水と衛生募金」を受け付けています。終了することがございますので、活動前に必ず最新の情報をホームページでご確認ください。

「マダガスカル水と衛生募金」 www.unicef.or.jp/about_unicef/water/

※ご送金の際、振込用紙の通信欄に指定募金名(「水と衛生」)をご記入ください。



集まりました募金は本冊子に綴じ込みの振込用紙をご利用のうえ、郵便局からご送金ください。ゆうちょ銀行・郵便局に備え付けの振込用紙でもご送金いただけます。窓口扱いの場合のみ、手数料免除となります。記入方法については、P.31をご参照ください。(→P.31「募金の送金方法」)

支援ギフト

緊急事態下でも使える生徒40人分の学用品が
入った「箱の中の学校」を届けるために!



箱の中の学校(スクール・イン・ア・ボックス)
© 日本ユニセフ協会

カタログの中から、ワクチンや教育セット、栄養治療食などの支援物資を指定して募金をお寄せいただく方法です。(※国は指定できません)「ワクチン〇〇人分の募金を集めよう!」など、より明確な目標を立てて募金活動を企画することができます。(※詳しくは右ページ参照)

送信先：(公財)日本ユニセフ協会 行
FAX : 03-5789-2034 TEL : 03-5789-2014 Eメール : se-jcu@unicef.or.jp

<申込日 年 月 日>

ユニセフ支援ギフト 申込用紙

世界の子どもたちに支援物資をプレゼント!

保健・栄養・水・教育・緊急など、さまざまな分野の支援物資をカタログから選んで支援することができます(右の二次元バーコード、URL参照)。募金活動を始める前に児童・生徒のみなさんとギフトを選んで、目標額を決めてから募金活動に取り組んでみませんか。

選ぶことのできる支援物資例

- 経口ポリオワクチン 160 回分 3,800 円
- 净水剤 1 万錠 4,200 円
- 栄養治療食 150 包 6,600 円
- 箱の中の学校 1 セット 40 人分 21,000 円



©UNICEF/UNI146341/Ose

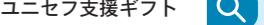


©UNICEF/UN0298242/

支援ギフト
カタログを見てみよう!
www.unicef.or.jp/kodomo/kyoroku/ky_bod5.html

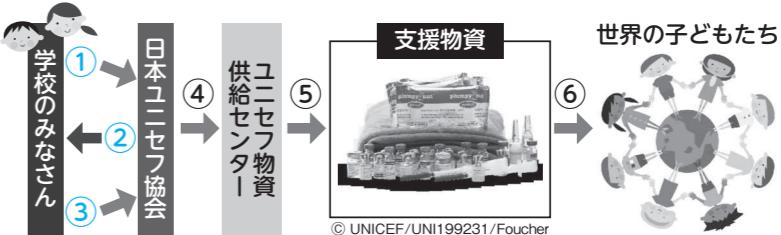


ユニセフ支援ギフト



※国・地域は指定できません。
※左に示した例の価格は2022年4月現在のものです。
物資・価格は変わることがあります。
※支援ギフトは輸送費用も価格に含まれているため、同じ支援物資でも、その他の資料に掲載されているものと価格が異なります。

- ①募金活動終了後、この「ユニセフ支援ギフト申込用紙」を記入し、当協会にお送りください。
- ②金額が印字されたゆうちょ銀行の振込用紙をお届けします。
- ③届いた専用振込用紙を使って募金をご送金ください。



フリガナ			
学校名・園名			
ご住所	〒 _____ 都道府県 _____		
電話	()	FAX	()
Eメール	※「支援ギフト事業」の年次報告はEメールでお届けします。		
ご担当者名			

申し込む支援ギフト

ギフト名	セット数	合計金額
	セット	円
	セット	円
	セット	円

ギフト名	セット数	合計金額
	セット	円
	セット	円
	セット	円

★上記支援ギフトと合わせて、通常のユニセフ募金にご協力いただける場合は、その金額をお書きください。
集まった募金から支援ギフトの価格を引いた端数をユニセフ募金としていただくことも可能です。

ユニセフ募金 _____ 円

We Support UNICEF賞

活動終了後には、ぜひ活動を振り返る機会をつくりましょう。

また、お世話になった方、募金にご協力くださった方に対して、報告とお礼をしましょう。

募金の送金方法はP.31をご参照ください。

- 活動して良かったこと、反省点、また、感じたこと、考えたことなどを、みんなで話し合いましょう。



- 学校新聞など広報誌や学校のホームページに、集まった募金額の報告や募金活動を実施しての感想などを掲載しましょう。



- お世話になった方にお手紙やお礼状を書きましょう。



- 活動の経験、反省や教訓などをまとめて、後輩に引き継げるようしましょう。



We Support UNICEF賞をご活用ください

ユニセフ学校募金活動を実施したうえでお申し込みをいただいた学校・園にWe Support UNICEF賞をお贈りしています。お申し込みいただくと、賞状と記念のステッカー、ホームページ用のWe Support UNICEFバナーをお贈りいたします。一生懸命活動された児童や生徒のみなさんへのフィードバックにお役立ていただけましたら幸いです。



2022年度「We Support UNICEF賞」の贈呈について

- **募集期間：** 2022年4月1日～2023年3月31日(申込用紙記載日)
- **賞の対象：** 以下の条件に該当し、お申し込みをいただいた学校・園すべてにお贈りします。
 - ・児童や生徒が参加する形でユニセフ学校募金活動に取り組まれた学校。
 - ・すべての校種(幼稚園・保育園を含む)が対象となります。
 - ・PTAなど学校以外が活動主体となる形も可です。
 - ・学校全体、クラス、委員会、クラブなど、活動単位も問いません。
- **お贈りするもの：** 賞状、We Support UNICEFステッカー、We Support UNICEFバナー(ホームページ用)
- **お申し込み方法：** 右の申込用紙に必要事項を記入し、FAX、メールあるいは郵便にて以下へお送りください。
受付・確認後、およそ1カ月程度でお送りいたします。

● 申し込み先

日本ユニセフ協会 学校事業部

(FAX)03-5789-2034 (メール)se-jcu@unicef.or.jp

(住所)〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス

■ 活動報告をお寄せください

賞のお申し込みと同時に、活動のようすや児童・生徒のみなさんの声、先生方の感想などを差し支えない範囲でぜひ、お知らせください。活動事例は、事前確認のうえ、当協会の媒体でご紹介させていただくことがあります。

送信先：日本ユニセフ協会 学校事業部 行
FAX：03-5789-2034 TEL：03-5789-2014 Eメール：se-jcu@unicef.or.jp

<申込日 年 月 日>

We Support UNICEF 賞 申込用紙

学校 / 園名			
学校長 / 園長名			
ご担当者名 (職)	()		
賞状に記載するお宛名の希望	※記載のない場合は、学校・園名で発行いたします。		
ご住所	〒	—	都・道・府・県
電話	()	FAX	()
メール			

実施された活動について、差し支えない範囲でお知らせください。

活動された方			人 数
活動日時 / 期間			
主な活動場所			
募金額	円 (送金日 年 月 日)		

活動内容について
概要や児童・生徒の皆さんとの声・感想、先生の講評など、ぜひお聞かせください

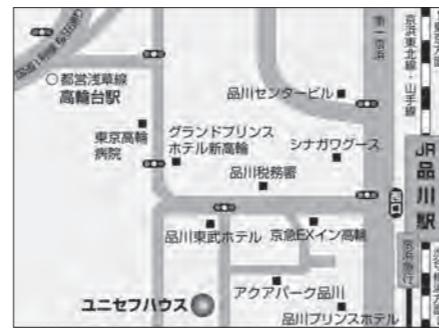
<p>写真や関連資料等ございましたら、こちらと合わせてメール等でお送りいただけますと幸いです。</p> <p>お寄せいただいた活動事例を当協会媒体(ウェブサイト・資料等)にてご紹介しても構いませんか?(はい · いいえ)</p> <p>We Support UNICEF賞ウェブサイトの「贈呈校一覧」に、学校(園)名を掲載してもよろしいですか?(はい · いいえ)</p> <p>※贈呈校一覧の校(園)名から学校(園)ホームページをリンクすることができます。</p> <p>リンク先URLをご記入ください。(URL:)</p>			
--	--	--	--

ユニセフハウス展示見学

ユニセフハウスには、開発途上国の保健センターや学校を再現したスペース、緊急支援用のテントなどがあり、実際に現地で使用されている支援物資などを手に取ってみることができます。修学旅行や社会科見学などの機会にぜひご訪問ください。入館料およびガイドツアーは無料です。

▲リニューアル工事のお知らせ▲

2022年夏季はリニューアル工事のためユニセフハウスは閉館いたします。また、リニューアル後は展示内容、およびガイドツアー（実施時間枠を含め）などが大幅に変更となる可能性がございます。閉館時期やリニューアル後の見学のご案内など、詳細はウェブサイトで最新情報をご確認ください。



ユニセフハウス開館日時

月曜日～金曜日、第2・第4土曜日(祝祭日、年末年始を除く)10:00～17:00

※新型コロナウイルス感染症の感染状況、政府・自治体からの要請等によって、開館日時の変更をすることがあります。
最新の情報はウェブサイトでご確認ください。

ガイドツアー予約について

ガイドツアー実施時間(1日4回、各回90分)

- ①10:00～11:30 ②11:30～13:00
- ③13:00～14:30 ④14:30～16:00
- ※16:00以降のご訪問についてはご相談ください

ガイドツアーの内容

- ・ビデオ視聴(約15分)
- ・展示スペースの見学と説明(約60分)
- ・質疑応答、アンケートなど(約15分)

- ご注意**
- ・例年4～6月および10～11月は混み合います。早めのご予約をお願いいたします。
 - ・駐車場はバス2台(車高3.5mまで)程度のスペースがありますが、予約はできません。バスでお越しの際は事前にご連絡ください。
 - ・館内でお食事はできません。
 - ・訪問時に募金をお持ちくださる際は事前にご連絡ください。当日お渡しできるお札状をご用意いたします。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策のため、最大受入可能人数を30名に制限(2022年3月現在)しておりますが、状況によって受入可能人数が変わることがございます。
 - ・展示スペースの写真撮影をすることはできますが、ビデオ撮影は原則ご遠慮いただけます。特別な事情がある場合には学校事業部までご相談ください。



新型コロナウイルスの感染状況がおさまるまで、ボランティアによる対面でのツアーは休止とさせていただき、展示物の説明は、ご自身のスマートフォン等にて映像でご観いただけるようになっています。タブレット端末の貸し出しも行っておりますので、ご予約時にお申し付けください。

ボランティアによるガイドツアー(無料・要予約)



こちらから訪問依頼書のダウンロードもできます。

送信先：(公財)日本ユニセフ協会 学校事業部 行

FAX : 03-5789-2034 TEL : 03-5789-2014 Eメール : se-jcu@unicef.or.jp

ユニセフハウス訪問依頼書

下記の通り、ユニセフハウス見学を申し込みます。

申込日：_____年_____月_____日

学校／園名：_____

学校／園長名：_____

印

ご担当者名(職)	()		
ご住所	〒 都・道・府・県		
電話	()	FAX	()
Eメール			

ユニセフハウス訪問依頼内容

日 時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分	
ガイド時間枠 ① 10:00～11:30 ② 11:30～13:00 ③ 13:00～14:30 ④ 14:30～16:00 ※ 16:00 以降はご相談ください。		
訪問予定者	教員 児童・生徒・学生 ※ () 年生 その他	名 名 名
目的	<input type="checkbox"/> 展示見学 <input type="checkbox"/> 下見見学(実地踏査) <input type="checkbox"/> 募金贈呈 <input type="checkbox"/> 学習資料収集	
今後の取り組み	※今回の訪問を機に、学校・園でどのような活動、取り組みをお考えですか。また、訪問前に事前学習をされている場合はその内容をお知らせください。	
質問事項など	※後日送付される場合は、2週間前までに訪問日を明記の上 FAX またはメールでお送りください。	
ユニセフハウスまでの交通手段	<input type="checkbox"/> 鉄道 (JR線・京浜急行・都営浅草線) <input type="checkbox"/> バス (大型 台・中型 台)	

アンケート

これまで、貴校・園で当協会の講師派遣や資料、視聴覚ライブラリーを活用したことはありますか？

これまで、貴校・園でユニセフの募金活動に取り組んだことはありますか？

※本「訪問依頼書」を受領後に、周辺地図の入った「訪問確認書」をFAX/メールにてお送りいたします。

講師派遣・オンライン授業

ユニセフ学校募金などの活動をお考えの学校へ、当協会および全国26の道府県にある協定地域組織（地域にあるユニセフ協会）のスタッフ・ボランティアによる講師派遣を実施しております。総合的な学習の時間や、生徒会・児童会の特別活動、PTAの講演会、文化祭等のイベントにあわせて、世界の子どもたちやユニセフについての授業や講演会を企画してみませんか。

また、「児童会・生徒会メンバーなど少人数を対象にした活動前の事前学習を行いたい」、「質問に答えてもらいたい」、「近くに講師派遣をしてくれる協会がない」などの場合は、オンライン授業をご活用ください。

講師派遣（ユニセフ教室・講演会）		オンライン授業
授業内容		世界のさまざまな子どもたちの現状やユニセフの支援について、映像や資料をまじえた授業を行っています。「紛争下の子ども」や「SDGs（持続可能な開発目標）」、「子どもの権利条約」など、特定のテーマの希望がある場合はその旨お伝えください。ユニセフと関連のあるテーマであれば、可能な範囲で対応いたします。また、水がめを使った水遊びなど、体験学習も実施しております。
授業時間	45～90分程度 (ご希望に合わせて柔軟に対応いたします)	基本1コマ（短時間も可）
人数	学年単位以上	少人数～全校
費用	・講師の交通費（往復） ・資料・使用する資材（水がめや蚊帳など）の往復送料	無料 ※ただし、水がめや蚊帳などの資材、資料をご希望の場合は送料がかかります。
準備	パワーポイントを使用できるコンピューターやDVD再生機器、プロジェクター・スクリーン、マイク・スピーカー等	オンラインミーティングツール（Zoom、Google Meet、Microsoft Teams、Cisco Webexなど）が使用できるパソコン環境（カメラ・マイク含む）
申込方法	<ul style="list-style-type: none"> 「講師派遣・オンライン授業依頼書」（右ページ）を授業実施希望日の1カ月前までにお送りください。依頼書の受領後、担当スタッフから授業の内容や使用機材、資料、費用等についてご連絡、ご相談申し上げます。 お近くの協定地域組織（地域にあるユニセフ協会）に直接お問い合わせ・お申し込みいただいても構いません。（➡P.30「協定地域組織」） 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ご不明の点については、日本ユニセフ協会 学校事業部（TEL:03-5789-2014）までお問い合わせください。 近隣に協定地域組織がない県については、原則オンライン授業をお願いしております。 教職員対象の研修会（国際理解教育、人権教育、ESD、総合的な学習の時間、道徳、各教科の研修など）への講師派遣も、日本ユニセフ協会 学校事業部（TEL:03-5789-2014）までご相談ください。 	

どちらかに○
下記の通り、**講師派遣・オンライン授業** を申し込みます。

送信先：(公財)日本ユニセフ協会 学校事業部 行
FAX : 03-5789-2034 TEL : 03-5789-2014 Eメール : se-jcu@unicef.or.jp

講師派遣・オンライン授業依頼書

申込日：_____年_____月_____日

学校／園名：_____

学校／園長名：_____印

ご担当者名（職）	（ ）		
ご住所	〒 都・道 府・県		
電話	()	FAX	()
Eメール			

■ 希望日時 ① 年 月 日 () 時 分～ 時 分
② 年 月 日 () 時 分～ 時 分
③ 年 月 日 () 時 分～ 時 分

■ 対象者（学年・人数）：_____

■ 会場：_____

■ 目的およびユニセフ教室後の活動（教育活動や教科の中での位置づけ）など：

■ 希望する内容：

■ 最寄駅から会場までの交通手段（オンライン授業ご希望の場合、Zoom、Google Meetなど使用予定のアプリケーション、カメラの有無など）：

アンケート

1) 今回のご依頼のきっかけについて、当てはまるものに□をしてください。

「ユニセフ活動の手引き」（冊子）を見て 「ユニセフ活動の手引き」（Web）を見て

毎年依頼している 前任校でやっていた 同僚からの紹介 その他（ ）

2) これまで、貴校・園で当協会の講師派遣や資料、視聴覚ライブラリーを利用されたことはありますか？

3) これまで、貴校・園でユニセフの募金活動に取り組んだことはありますか？

ご確認のうえ、チェックをお願いします。

講師の交通費と授業で使用する資材の送料（往復）のご負担をお願いします。

希望日時は第3希望までご記入ください（原則、平日の9～17時）。ご希望の日時でお受けできない場合は、別途ご相談申し上げます。

「知る」「考える」ための方法とツール

日本ユニセフ協会では、先生方の日頃の授業にお役立ていただけるような、さまざまな資料、貸出教材、視聴覚教材を提供しております。ぜひご活用ください。

ユニセフ資料

右ページの「ユニセフ資料申込用紙」(FAX:03-5789-2034/Eメール:se-jcu@unicef.or.jp)、もしくは、当協会のウェブサイト(www.unicef.or.jp/library/library_act.html)よりお申込みください。資料到着まで1週間から10日程度の余裕をみていただけますと幸いです。

令和3年度より学校宛ての資料については、送料を無料(日本ユニセフ協会負担)といたしました。
学校での募金活動やさまざまな学習に広く、当協会の資料をお役立てください。



ポスター

2022年度テーマポスター

52cm×73cm/無料

街頭募金活動やイベントなどに!学校向けウェブサイト「子どもと先生の広場」ではポスターに登場する子どもたちについてのお話を読むことができます。

ポスターセット ※貸出用のパネルセットもあります。→P.27
52cm×73cm/ポスター10種1セット/1セット 400円

「ユニセフってなあに?」(2018年4月 改訂版)

※「文化祭ユニセフセット」には無料で1セットあります。→P.10

保健・水と衛生・栄養・教育・緊急支援・子どもの保護などテーマ別にユニセフの主な活動内容をわかりやすくまとめています。

「子どもたちにやさしい地球を残そう」

世界の子どもたちの置かれた厳しい状況を紹介し、子どもにやさしい地球を残すためにユニセフと一緒に考え行動することを呼びかけます。

学習資料

子どもの権利条約カードブック(2021年8月増刷版)

B5/30ページ/1冊目無料(2冊目から60円)/小学校高学年~
「子どもの権利条約」1条~40条をやさしく抄訳したイラスト付のカードブック。切り離してカード状にするさまざまな使い方を工夫できます。カードの裏面には各条文の原文(政府公式訳)がついています。カードを活用したアクティビティ例も掲載。



ユニセフCREハンドブック「子どもの権利条約」を学級経営に生かそう~子どもと先生でつくるみんなが尊重される学校・園~

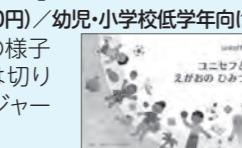
A4/14ページ/無料/教職員向け

ユニセフが各国で提唱する「Child Rights Education(CRE):子どもの権利を大切にする教育」についてのハンドブックです。すべての子どもが等しくもつて「子どもの権利」。このハンドブックでは、「子どもの権利」を理解する上での大切なポイントについて、また、「子どもの権利」をどのように学校・園での教育活動に生かしていくか、いくつかの実践例を含めて紹介しています。



絵本「ユニセフとえがおのひみつ」

A4/22ページ/1冊目無料(2冊目から140円)/幼児・小学校低学年向け
ユニセフの活動と世界の子どもたちの様子が分かる絵本型資料です。巻末には切りとつてお使いいただける上腕計測メジャーがついています。

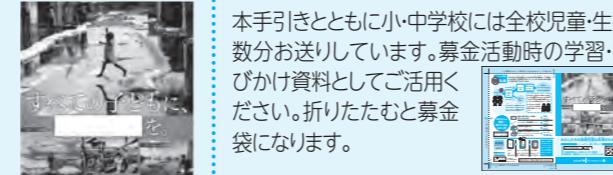


ちらし

子どもチラシ

A5/無料/小学校低学年~

本手引きとともに小・中学校には全校児童・生徒数分お送りしています。募金活動時の学習呼びかけ資料としてご活用ください。折りたたむと募金袋になります。



ユニセフ手帳

A3二つ折り/無料/小学校低学年~

子どもチラシよりも詳しくユニセフの活動概要がわかります。切込みを入れて折りたたむと8ページの手帳型になります。



SDGs副教材

「私たちがつくる持続可能な世界~SDGsをナビにして~」

A4/巻三つ折り/無料/小学校高学年~

現在の地球上の課題を知り、考えるとともに、自分にできることやみんなで協力したらできることなどを見出す。そうした学習活動にお役立て下さい。本教材専用のポータルサイトは調べ学習に最適です。指導用参考資料もあります。



壁新聞「ユニセフ学校通信」

73cm×52cm/無料/小学校~

秋のユニセフ資料として、毎年違ったテーマで全国の学校にお届けしている壁新聞です。2021年度:SDGsの「決意」と「めざす世界」/2020年度:新型コロナウイルスと世界の子どもたち/2019年度:子どもの権利条約30周年/2018年度:地図で見る世界の子どもたち



世界子供白書2019

A4/255ページ/1,100円/一般向け

世界の子どもたちの状況について毎年ユニセフが発行する白書。2019年のテーマは「子どもの食と栄養」。※2021年度版(テーマ:メンタルヘルス)の日本語サマリー版が春頃公開予定です。



絵本「ちきゅうからのしつもん」

A4/22ページ/1冊目無料(2冊目から60円)/幼稚園・保育園~
太陽・海・動物など自分たちの身近なところから地球のことを考える絵本です。



送信先:(公財)日本ユニセフ協会 学校事業部 行

FAX:03-5789-2034 TEL:03-5789-2014 Eメール:se-jcu@unicef.or.jp

<申込日 年 月 日>

ユニセフ資料 申込用紙

■送付先情報

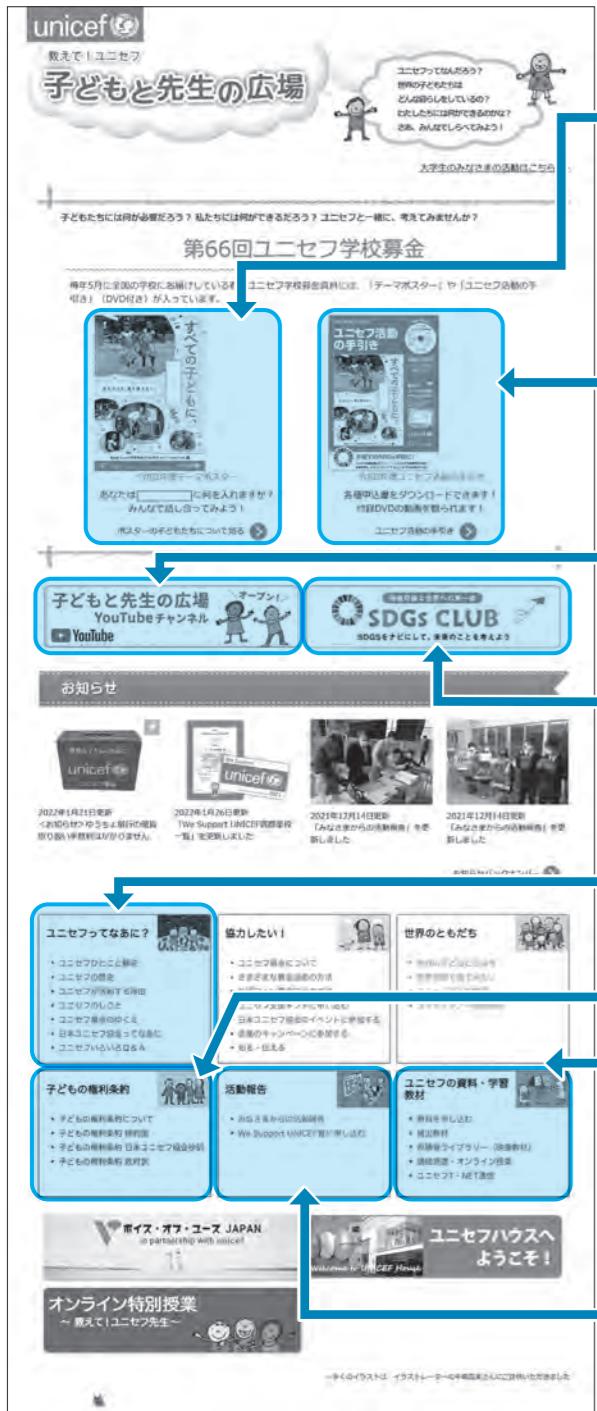
学校 / 園名			
ご担当者名 (職)	()		
ご住所	〒	都・道 府・県	
電話	()	FAX	()
Eメール			

■希望資料

※希望するものに○をつけてください。これ以外の資料をご希望の方は下の空欄に希望資料名と数量をご記入ください。

希望	資料名	単価	希望数	資料代
	テーマポスター (年度)	無料	枚	
	子どもチラシ	無料	枚	
	ユニセフ手帳	無料	枚	
	ポスター	10枚 1セット 400円	セット	
	「ユニセフってなあに?」	10枚 1セット 400円	セット	
	「子どもたちにやさしい地球を残そう」	10枚 1セット 400円	セット	
	子どもの権利条約カードブック	1冊目無料 2冊目から 60円/冊	冊	
	ユニセフCREハンドブック	無料	冊	
	「子どもの権利条約」を学級経営に生かそう ~子どもと先生でつくる みんなが尊重される学校・園~	無料	冊	
	SDGs副教材 「私たちがつくる持続可能な世界~SDGsをナビにして~」	無料	部	
	壁新聞「ユニセフ学校通信」(年度)	無料	枚	
	世界子供白書 2019	1,100円/冊	冊	
	絵本「ユニセフとえがおのひみつ」	1冊目無料 2冊目から 140円/冊	冊	
	絵本「ちきゅうからのしつもん」	1冊目無料 2冊目から 60円/冊	冊	

※有料資料については、資料送付時に、資料代を記載した振込用紙を同封いたします。

「子どもと先生の広場」 www.unicef.or.jp/kodomo/

※2022年3月現在のイメージです

各種SNSでも最新情報を発信しています！

一般向けの日本ユニセフ協会のホームページ(www.unicef.or.jp)からは、報道では目にしにくい世界の子どもに関するさまざまなニュースや、最新の報告書、データなどをチェックすることができます。YouTube公式チャンネルでは多くの映像を公開しているほか、各種SNSでも情報を発信しておりますので、ぜひフォローしてください。



「子どもと先生の広場」でできることの例

○「ポスターを使って話し合ってみよう！」

テーマポスターに登場する子どもたちについて知ることができます。「すべての子どもに、□を。」の空欄に入る言葉を考える際の導入、ポスター紹介に便利。

○「ユニセフ活動の手引き」ダウンロード

「ユニセフってなあに」「世界の子どもたちは、いま」のページなどは、学習資料として印刷・配布に便利な見開きページでダウンロードすることもできます。

子どもと先生の広場YouTubeチャンネル

○「ユニセフDVD学習教材」収録動画のバックナンバー・ユニセフ視聴覚ライブラリーの動画の視聴

SDGs CLUBはここから！

○SDGs(持続可能な開発目標)について調べる
SDGs CLUB(www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/)○ユニセフについての基本的な情報や
よくある質問への回答・解説

○「子どもの権利条約」について学ぶ

○各種資料のお申し込み、
資料PDFダウンロード

実寸大の
「上腕計測メジャー」(右図)の
ダウンロードもできます！

○日本全国からのユニセフ活動
の実践事例

本冊子「ユニセフ活動の手引き」には、毎年さまざまな最新動画を収録したDVDが付属しています。道徳科や各教科の授業などで、ユニセフや世界の子どもたちについて知る機会にご活用いただけます。また、ユニセフ学校募金のお取り組み時に、全校集会やお昼の放送で映像を流す際などにもご活用ください。



2022年度ユニセフDVD学習教材の活用例

園児・小学校低学年



まだ会ったことはないけれど世界中にいるたくさんのともだち。
今日は、世界のともだちについて勉強しよう。



小・中



みなさん、こんにちは。児童会の〇〇です。来週からユニセフ募金活動が始まります。
この機会に全校のみなさんにユニセフや世界の子どものことについて知ってほしいと思ったので、これから□日間にかけてユニセフの動画を放送していきます。



小・中・高



SDGsの17個の目標はよく知られるようになってきましたが、そもそもなぜSDGsができてきたのでしょうか？今日はSDGsが成立してきた背景や、SDGsが目指す世界とは何かについて、動画で学んでみましょう。



DVD収録動画の説明は、
→卷末「動画紹介」をご参照ください。

子どもと先生の広場 YouTubeチャンネルできました!!

子どもと先生の広場YouTubeチャンネルでは、ユニセフDVD学習教材(バックナンバー2018年～2021年に収録の動画を含む)や、ユニセフライブラリー(P.25-27)で貸し出している動画をご視聴いただけます。



YouTube 子どもと先生の広場 検索



ユニセフ視聴覚ライブラリーと貸出教材

日本ユニセフ協会では、DVDやパネル、ユニセフの支援物資などを教材として貸し出しています。
貸出機関はP29～P30に掲載しています。ご希望の教材を貸し出している最寄りの機関にご連絡ください。

※往復の送料は利用者にてご負担をお願いしています。

※万が一、破損された場合には速やかに貸し出し機関へご連絡ください。原則として補修費用のご負担をお願いいたします。

DVD・ビデオ(ユニセフ視聴覚ライブラリー)

各タイトルで使用されている数値や内容は制作年当時のものです。

YouTubeからオンラインでも映像を見られるタイトルには二次元コードがついています。

幼：幼児以上 小：小学生以上 中：中学生以上



はじめてユニセフを学習するときに

ユニセフと地球のともだち 14分

小

「シュヌン・シュヌン」 16分

小

中学年

保健、水、栄養、教育、保護、緊急支援の6つを柱としたユニセフの活動を、現地の子どもたちの声や映像で紹介します。また、ユニセフの歴史や、日本へのユニセフの支援についても触れています。ユニセフと世界の子どもたちの現状について基礎から学ぶことができます。項目ごとに分けて見ることができます。(2016年改訂・字幕版・英語版あり)



ユニセフの歴史や活動についてテーマごとに学習をするときに

ユニセフの歴史 6分

小 高学年

ユニセフは、第二次世界大戦後、戦争で被害を受けた子どもへの支援のために創設されました。いまでは開発途上国で、保健、水と衛生、教育など、子どもたちの命と健やかな成長を守る活動を行っています。その活動と歴史をわかりやすく紹介します。(2011年制作)



子どもの命と健康を守るために 6分

小

高学年

守ることができるはずの幼い命が今もうしなわれています。世界中のすべての子どもたちが、十分なケアを受け、健やかに成長できるように、ユニセフが各地で取り組んでいるさまざまな活動を紹介します。(2011年制作)



すべての子どもに教育を 6分

小 高学年

学校に通いたいのに通えない。貧しさや学校がないなどさまざまな理由で学校に通えない子どもたち。すべての子どもが教育を受けられるように、ユニセフが実施している活動を、子どもたちの声や笑顔とともに紹介します。(2011年制作)



HIV/エイズとのたたかい 6分

小

高学年

HIV/エイズによって厳しい状況に置かれる多くの子どもたち。出生時に感染した子ども、親をエイズで亡くした子ども。こうした子どもたちを守ることも、ユニセフの活動のひとつです。HIV/エイズの予防、治療、教育、ケアに取り組むユニセフの活動を紹介します。(2011年制作)



子どもの保護と緊急支援 7分

小 高学年

多くの子どもたちが暴力や搾取、差別、虐待などの危険にさらされています。過酷な労働をさせられる子ども。紛争に巻き込まれる子ども。出生登録がないために「公式に存在」せず誕生日も知らない子ども。こうした現実やユニセフの緊急支援活動を紹介します。(2011年制作)



この世界に生きる子どもたち 16分

小

高学年

子どもの兵士、HIV/エイズなど、世界のさまざまな場所で厳しい現実に直面している子どもたちと、そうした子どもたちを守るユニセフの取り組みを紹介します。(2006年制作)



子どもたちこそ明日の世界 9分

小 高学年

1990年に開催された「子どものための世界サミット」。当時、1日に4万人もしなわっていた幼い子どもの命をどう守るか、その方策が話し合われ、また、その実行が約束されました。将来の世界の主役である子どもたちに向けて制作された作品です。(1990年制作)



幼い子どもから学べる

なぜユニセフ募金なの 10分

幼

不自由な生活をしている私たち。でももし、電気、水道、病院、食べ物がなくなってしまったら?こうした基本的なニーズが満たされない厳しい生活があることを想像し、ユニセフへの協力を呼びかけるアニメーション作品です。(2010年画像復版)



タムタムとビルの街 8分

幼

灰色の空の下で暮らすビルの街の子どもたちには青空を、乾いた砂漠に住む子どもには雨をプレゼント。世界の子どもたちが互いを学びあい、平等な立場で助け合うことをテーマにしたアニメーション作品です。(1984年制作)



特定の国の状況について知る

ベトナム ディエンビエンの子どもたち 15分

小

急速な経済発展のイメージと裏腹に、特に山間部で暮らす少数民族の人びとはその流れから取り残され、厳しい暮らしを送っています。豊かさとは何か、公平性とは何かを、少数民族の女の子の生活を通して考えます。(2013年制作)



いのちの水 西アフリカ マリからの報告 13分

小 高学年

安全な水やトイレがないことが、多くの子どもたちの健康を脅かしています。世界の水や衛生の現状とともに、マリ共和国で村に井戸がつくられ、それによって変わっていく現地の人びとの生活を伝えています。開発途上国におけるユニセフの活動もよくわかる作品です。(2008年制作)



カンボジアの子どもと未来 14分

小

高学年

1998年に戦争が終わったカンボジアでは、特に農村部で、保健や安全な水が行き届かず、栄養不良が広がり、子どもたちの健やかな成長が脅かされています。こうした暮らしを改善してゆくためにユニセフが実施している教育や識字教育プロジェクトを紹介します。(2008年制作)



すべての人にきれいな水を 17分

小

高学年

ヒマラヤ山脈で知られる南アジアの国、ネパール。安全な飲料水の確保に苦労している人が多く、時間も労力もかかる水汲みは主に女性と子どもたちの仕事です。カルカ村、ハンディコーラ村、パルサ村を例に各地での給水と衛生の取り組みを紹介します。(1993年制作)



戦争・搾取・虐待…特に厳しい状況下の子どもたちを知る

子どもの権利を買わないで 22分

小

高学年

子どもの権利と武力紛争 12分

中

山村で暮らしていた女の子ブンは、ある日村にやって来た男に連れられ、都会で働くことになります。そこでブンを待ち受けているのは…。子どもの権利のもっとも深刻な侵害のひとつ「子どもの商業的搾取」の問題をわかりやすく紹介するアニメーション作品です。(2001年制作)



子どもと武力紛争 12分

中

現在も世界各地で武力紛争が続いている。子どもたちが兵士として使われ、身体と心に深い傷を負っています。こうした子どもたちの状況を伝え、子どもを紛争に巻き込まないためにできることを呼びかけています。(1999年制作)



I DREAM OF PEACE(英語) 6分

ビデオのみ

中

戦争によって深い傷を負った子どもの心を癒すために、その体験や素直な感情を絵や詩に表現する心理療法があります。内戦の犠牲になった旧ユーゴスラビアの子どもたちが描いた絵を通して、子どもたちの抱える苦しみと夢を伝えます。(1994年制作)



I am a child 8分

中

多くの子どもが児童労働に従事しています。中には、心身の発達に害を与える危険な労働を強いられている子どもも多く存在します。ケニア、タイ、ブラジルで働く子どもたちのようすを伝えるこの作品は、児童労働の撲滅に向けて強いメッセージを発信しています。※ダビング不可(ILO制作、1996年)



子どもの権利 16分

中

1990年の「子どもの権利条約」発効後も、子どもの権利が侵害されている状況が続いている。児童労働や虐待で苦しむ子どもや戦時下の子どもの状況などを伝えると同時に、「子どもの権利」の実現に向けて力を尽くすよう訴える作品です。(1992年制作)



ユニセフが現地での啓発のために開発したアニメーション作品

ミーナ にわとりなんわ 14分

幼

南アジア地域では、社会慣習により女性が不利な立場に置かれ、女子は教育の機会を奪われがちです。この地域で女子教育を広めるために制作された啓発ビデオです。お父さんの反対で学校に行けないミーナ。ペットのオウムを学校に行かせ、オウムから数の数え方を教えてもらいます。それをきっかけにして…(1996年制作)



ミーナ はんぶんこしよう 13分

幼

女性や女子がより重い労働負担を強いられることが多い南アジア地域。この地域で女性の状況改善を啓発するため制作された啓発ビデオです。弟と一緒に学校に通えるようになったミーナ。ところが食事の量は弟よりも少なく、家の仕事は弟よりも大変です。ミーナと弟が家の仕事を交換してみたら…(1996年制作)



サラ すてきなおくりもの 16分

小

東南アフリカ地域で、女子への支援プログラムの一環で制作された啓発ビデオです。中学校に通うことを楽しんでいたサラ。お金がないことを理由にもう学校に通わせられないと言われます。ある日、借りた本を読んでサラは素敵なことを思い描きます。(1997年制作)



日本の子どもたちが登場する作品

世界の12歳 17分

小

高学年

日本の14人の12歳の子どもたちが、パン・グラデシュ、ガーナ、クロアチア、オーストラリアの子どもたちを訪ねます。異文化に触れ、友情を深め、相手の国を理解してゆくドキュメンタリー。児童婚、労働、紛争などの世界の課題について考えます。※ダビング不可(1998年制作)



だれが守るの地球 13分

小

高学年

1992年にリオデジネイロで開かれた「国連環境会議」。子どもの代表スズキさんとサイドさんの発言を紹介します。また、ブラジル・ファベイラの生活改善、滋賀県栗東市立大宝小学校の環境授業、ケニアの植林の事例を通じて、子どもの参加を呼びかけています。(1993年制作)



世界子供白書シリーズ

世界子供白書2007 17分

ビデオ 中

教育や仕事の機会など、ジェンダーによる差別は世界中で広く見られます。差別をなくし、女性の地位が向上することによってどのような変化がもたらされるでしょうか?「子どもの権利」実現の力に注ぐ女性のエンパワーメントに焦点を当てて紹介しています。(2007年制作)

世界子供白書2008 12分

ビデオ 中

子どもの保健分野では大きな進歩が見られる一方、いまだ多くの命がうしなわれています。子どもの生存に関し、前進を加速させるためには、保健システムの強化が重要です。コミュニティを基盤とする保健ケアの取り組みを紹介しています。(2009年制作)



世界子供白書2009 一妊産婦と新生児の保健 16分 中

多くの女性が妊娠や出産に関連して命を失っていますが、その危険は、先進国と開発途上国との間で数百倍以上の格差が存在しています。妊産婦の死亡につながる要因や母親と新生児を守るためにコミュニティでの取り組みを紹介しています。(2010年制作)



「ユニセフ活動の手引き」付属DVD

2018年度 ユニセフDVD学習教材 (2タイトル収録)

①片足を失った少女「将来は体操のコーチに」②長谷部誠 エチオピア「ワクチンの旅」③13歳アイシャの一日～水を得るために～④心の鼓動～シリアの子どもたちから世界へ歌のメッセージ～⑤100円の旅 ⑥世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」⑦ユニセフと地球のともだち



2019年度 ユニセフDVD学習教材 (10タイトル収録)

①あなたにとって平和とは?～シリア 難民キャンプの子どもたちの声～②教育をあきらめたくない～ロヒンギャ難民のラッシュド君～③子ども兵士から解放されたジョセフ君 ④IMAGINE(イマジン)ユニセフバージョン⑤思いがけないインタビュー ⑥100円の旅 ⑦世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」⑧ユニセフと地球のともだち⑨長谷部誠 日本ユニセフ協会大使から日本の子どもたちへのメッセージ ⑩【ユニセフ共CM】長谷部誠大使難民キャンプ編



2020年度 ユニセフDVD学習教材 (11タイトル収録)

①人道危機下で暮らす子どもたち ②長谷場誠大使ロヒンギャ難民キャンプ訪問 ③南スダーン:栄養不良から回復したアデュちゃん ④バン・グラデシュ:気候変動がうばったスマイアちゃんの暮らしと健康 ⑤ブルンジ:すべての子どもに、安全な水を ⑥私たちの可能性～ザータリ難民キャンプ・障がいのある子どもたちのお話～ ⑦100円の旅 ⑧世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」⑨ユニセフと地球のともだち ⑩子ども兵士だったぼく～人生を取りもどすために～⑪難民キャンプから始まった私の旅～教育の大切さを伝える～



2021年度 ユニセフDVD学習教材 (11タイトル収録)

①絵本「ユニセフとえがおのひみつ」読み聞かせ ②【教育】故郷を追われたナビラちゃん、再び学校に(ブルキナファソ) ③【栄養】バーチャル社会科見学～栄養治療食が子どもたちに届くまで～(ジエール) ④【水】私がユニセフで働く理由からすべての子どもに、きれいな水を～(南スダーン) ⑤【子どもの保護】児童婚をなくしたい～14歳で結婚したアビバの活動～(カメルーン) ⑥【難民】シリア難民ボドールさんの一日(ヨルダン・アズラク難民キャンプ) ⑦マングローブの守り～子どもたちの植林活動～(パナマ) ⑧子どもにも力がある～SDGs(持続可能な開発目標)とより良い世界を目指して～⑨ユニセフと地球のともだち ⑩100円の旅 ⑪おどろみよう!世界手洗いダンス



パネル(ユニセフ視聴覚ライブラリー)

各テーマに沿って、写真と説明の入った10種類のポスターで1セットになっています。掲示用アルミフレーム枠のパネル(52cm×73cm)になっています。

ユニセフってなあに?

保健・水と衛生・栄養・教育・緊急支援・女性への支援などテーマ別に、ユニセフの主な活動内容をわかりやすくまとめて紹介しています。(2018年制作)



※上記の2タイトルは、ポスターセット(四つ折りで封筒に入ったもの)の提供が可能です。(→P.21「ユニセフ資料」)

子どもの参加が未来をつくる

子どもは年齢に応じて、社会とのつながりを広げていきます。社会への参加を通して、さまざまな体験をして、視野を広げ、自分がおとなに成長したときに果たす役割について学んでいきます。(2003年制作)

わたしも学校へ行きたい

世界には家事労働などで通学できない女の子が男の子よりも多くいます。その状況への理解と、いまだ解決を必要とする諸問題に取り組む必要性を、子どもたちの視線から訴えています。(2004年制作)

子どもたちにやさしい地球を残そう

現在、子どもたちが置かれている厳しい状況を紹介するとともに、子どもたちにやさしい地球を残すために、ユニセフと一緒に考え、行動することを呼びかけています。(2013年制作)



※上記の2タイトルは、ポスターセット(四つ折りで封筒に入ったもの)の提供が可能です。(→P.21「ユニセフ資料」)

ひとりひとりが大きな力

子どもの権利を脅かしている世界のさまざまな問題。よりよい未来のためにひとりひとりが力を発揮して問題に取り組もうと訴えます。(2002年制作)

守られているの?子どもの権利

「子どもの権利条約」でうたわれている権利と、基本的な権利を守られていない子どもの状況とユニセフの活動を紹介します。(2000年制作)

貸出教材

日本ユニセフ協会および全国の協定地域組織にて以下のアイテムを教材としてお貸し出しています。

※協定地域組織ごとに貸し出し可能なアイテムが異なりますので、P.30のリストにてご確認ください



水がめ …水を運ぶ大変さを体験

ネパールで広く使われている日用品です。水道がない地域に暮らす人びとは、最寄りの水場からこの水がめを使って水をくんでいます。水源が遠い地域では、子どもたちが水くみに一日に何時間も費やし、学校へ行ったり、家で勉強したりする時間を犠牲にしていることもあります。

水がめ豆知識



- 水を肩口まで入れると15kgほど重さになります(およそ13リットルの水が入ります)
- 腰骨に乗せて持つことが多いようです。子どもたちは縄をつけて頭で支えながら背中に背負って歩くこともあります。頭にのせることもあるようですが、子どもはもっと小さな水がめを使います。(慣れない日本人にはいざれも大変難しく、けがをする恐れがありますので、水が入っている場合は持ち上げるだけにしましょう。)
- 真鍮製(5円玉と同じ素材)です。より軽いアルミ製の水がめもありますが、暑い時期にはすぐに水があたたまってしまうそうです。真鍮は重さはあるものの、断熱性が高く、水を冷たく保つことができるため、現在も重宝されているそうです。
- 衝撃を与えると割れたりひびが入ったりしますので、取り扱いにはご注意ください。

蚊帳 …マラリアを予防する蚊帳に日本企業の技術

幼い子どもの主な死因の一つにもなっているマラリアは、熱帯に生息するハマダラカという蚊が媒介する病気です。ハマダラカは夜行性。夜、蚊帳の中で眠るだけで大きな予防効果があります。ユニセフは支援物資としてマラリアの流行地域で蚊帳を普及しています。



蚊帳豆知識



- 穴が開いたり、隙間があいたりすると予防効果がなくなるため、半年に一度程度、防虫成分のある薬剤に蚊帳を浸す処理が推奨されていましたが、その方法はなかなか普及せず、その結果、限定的な予防効果しか得られないという課題がありました。
- この課題に対し、繊維から防虫剤が徐々に染み出る技術を日本企業が開発、その技術を生かして薬剤処理をしなくとも約3年にわたって効果が持続する蚊帳が開発されました。
- WHO(世界保健機関)もこの蚊帳(長期残効型蚊帳:long-lasting insecticidal nets)の効果を認め、使用を推奨しています。
- ユニセフは子どもの命を守る支援物資としてこの蚊帳を広く活用しています。(2022年1月現在、3張分の調達価格は639円)



©UNICEF/UNI109457/Pirozzi

地雷レプリカ …紛争が終わったあとも被害をもたらす

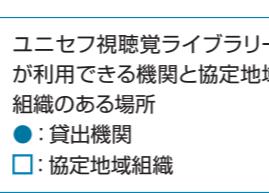
紛争が終った後も、地雷は消えてなくなることはなく、そこにとどまつて被害を与え続け、平和な復興を妨げます。被害者の中には多くの子どもたちが含まれ、手足を奪われたり、ひどい場合は命をうなぎっています。ユニセフは、地雷や不発弾とはどんなものか、地雷などを見つけたらどう対処するのかなどを子どもたちに教える教育活動を支援しています。このキットは、その教育用に使われている教材をまとめたものです。対人地雷や不発弾の木製レプリカ、地雷教育に使われているポスターをセットしています。また、紹介時に使用できるパワーポイントのデータも入っています。



全国の貸出機関と協定地域組織

ユニセフ視聴覚ライブラリーは、以下の貸出機関および日本ユニセフ協会の協定地域組織でご利用いただけます。

協定地域組織では、学習会、講演会、写真展、募金活動などを実施し、学校への講師派遣も受け付けております。協定地域組織がない県でも、地域によっては近隣の協定地域組織からの訪問が可能な場合がありますのでご相談ください。



ユニセフ視聴覚ライブラリーが利用できる機関と協定地域組織のある場所

●: 貸出機関

□: 協定地域組織

ユニセフ視聴覚ライブラリー 貸出機関

DVD・ビデオ パネル

機関名	貸出アイテム	電話番号	受付日時	住所
東日本を中心に全国へ貸し出し				
ユニセフライブラリー	DVD □	03-5789-2014	9:00~17:00 ④ 土・日・祝	〒343-0851 越谷市七左町4-301 共同物流 ユニセフライブラリー係
原則、所在県府内対象に貸し出し(発送サービスあり)				
(公財)岩手県国際交流協会	DVD ※ DVDのみ	019-654-8900	9:00~20:00 ④ アイーナ休館日 12/29~1/3	〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 いわて県民情報交流センター「アイーナ」5F 国際交流センター内
(公財)秋田県国際交流協会	DVD	018-893-5499	9:00~17:45 ④ 第1, 2, 4, 5 土・日・祝、 第3土曜日の翌月曜日	〒010-0001 秋田市中通2-3-8 アトリオン1F
(公財)栃木県国際交流協会	DVD ※ DVDのみ	028-621-0777	9:00~17:00(火~土) ④ 月・日・祝	〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
(公財)静岡県国際交流協会	DVD ※ DVDのみ	054-202-3411	8:30~17:15 ④ 土・日・祝	〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F
(公財)名古屋国際センター ライブラリー	DVD ※ DVDのみ	052-581-0102	9:00~19:00(火~日) ④ 月/2月・8月の第2日曜日 12/29~1/3	〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1
(公財)豊田市国際交流協会	DVD	0565-33-5931	9:00~19:00(火~金) 9:00~17:00(土・日) ④ 月(豊田市とその周辺対象)	〒471-0034 豊田市小坂本町1-25 豊田産業文化センター3F
(公財)とやま国際センター	DVD	076-444-2500	9:00~17:45 ④ 土・日・祝	〒930-0856 富山市牛島新町5番5号 インテックビル4F
(公財)福井県国際交流協会	DVD ※ DVDのみ	0776-28-8800	9:00~18:00(第2月・水・金・土・日) 9:00~20:00(火・木) ④ 第2以外の月・祝	〒910-0004 福井市宝永3-1-1
日本国際連合協会 京都本部事務局	DVD	075-211-3911	10:00~17:00 ④ 土・日・祝 学校・団体・企業のみ貸し出し可	〒604-0862 京都市中京区烏丸通り夷川上ル 第7長谷ビル8F
熊本県教育庁義務教育課	DVD ※ DVDのみ	096-333-2705 (ダイヤルイン)	10:00~17:00 ④ 土・日・祝	〒862-8609 熊本市中央区水前寺6-18-1
(公財)鹿児島県国際交流協会	DVD □	099-221-6620	9:00~17:00 ④ 月(祝日の場合火)	〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター1F

機関名	貸出アイテム	電話番号	受付日時	住所
沖縄県視聴覚ライブラリー	DVD ※ DVDのみ	098-864-0474	8:30~17:15 ④ 土・日・祝	〒900-0029 那霸市旭町116-37 (沖縄県南部合同庁舎4F) 沖縄県教育庁生涯学習振興課生涯学習推進センター
訪問して利用することができます(発送サービスなし)				
神奈川県立地球市民かながわ プラザ 情報フォーラム	DVD	045-896-2977	9:00~20:00(火~金) 9:00~17:00(土日祝) ④ 月(祝日の場合開館) 県内在住・在勤・在学の方対象	〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 2F
(公財)大阪国際交流センター	DVD	06-6773-8989	平日 9:00~19:00 土・日・祝 9:00~17:30 ④ 12/29~1/3・臨時休館日	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6

協定地域組織

DVD・ビデオ パネル 水がめ 地雷レプリカ 蚊帳

名称	貸出アイテム	電話番号 FAX番号	受付日時	住所
北海道ユニセフ協会	DVD □	011-671-5717 011-671-5758	月・火・木・金 10:00~16:00	〒063-8501 札幌市西区発寒11条5-10-1 コープさっぽろ本部2F
岩手県ユニセフ協会	DVD	019-687-4460 019-687-4491	月~金 10:00~15:00	〒020-0690 岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F
宮城県ユニセフ協会	DVD	022-218-5358 022-218-3663	月~金 10:00~16:00	〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協A棟3階
福島県ユニセフ協会	DVD	024-522-5566 024-522-2295	月~金 10:00~16:00	〒960-8105 福島市仲間町4-8 ラコパくしま4F
茨城県ユニセフ協会	DVD	029-224-3020 029-224-1842	月~金 10:00~16:00	〒310-0022 水戸市梅香1-5-5 茨城県JA会館分館5F
埼玉県ユニセフ協会	DVD	048-823-3932 048-823-3978	月~金 10:30~16:30	〒336-0018 さいたま市南区南本町2-10-10 コープみらい コーププラ浦和1F
千葉県ユニセフ協会	DVD	043-226-3171 043-226-3172	月~金 10:00~16:00	〒264-0029 千葉市若葉区桜木北2-26-30 コープみらい 千葉エア桜木事務所 本館
神奈川県ユニセフ協会	DVD	045-334-8950 045-334-8951	月・水・金 ※祝日除く 10:00~17:00	〒231-0063 横浜市中区花咲町2-57 ミシナビル201
岐阜県ユニセフ協会	DVD	058-379-1781 058-379-1782	月・火・木・金 10:00~16:00	〒509-0197 各務原市鵜沼各務原町1-4-1 生活協同組合コープぎふ1F
石川県ユニセフ協会	DVD	076-255-7997 076-255-7185	月・火・水・金 10:00~15:00	〒920-0362 金沢市古府2-189 コープいしかわ古府センター2F
三重県ユニセフ協会	DVD	059-273-5722 059-273-5758	月・水・金 10:00~17:00	〒514-0009 津市羽所町379番地 コープみえ本部ビル1F
奈良県ユニセフ協会	DVD	0742-25-3005 0742-25-3008	月~木 11:00~16:00	〒630-8253 奈良市内侍原町6番地の1 奈良県林業会館2F
大阪ユニセフ協会	DVD	06-6645-5123 06-6645-5124	火~土 11:00~16:00	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル2F
京都綾部ユニセフ協会	DVD	0773-40-2322 0773-45-4090	月~木 10:00~15:00	〒623-0021 綾部市本町2-14 あやべハートセンター内
兵庫県ユニセフ協会	DVD	078-435-1605 078-451-9830	月~金 10:00~16:00	〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18 コープこうべ生活文化センター4F
鳥取県ユニセフ協会	DVD	0858-71-0970 0858-71-0970	月・火・金 10:00~16:00、 水 10:00~12:00	〒680-1202 鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内
岡山ユニセフ協会	DVD	086-227-1889 086-227-1889	月・火・木・金 10:00~15:00	〒700-0823 岡山市北区丸の内1-14-12 小野アルミビル2F
広島県ユニセフ協会	DVD	082-231-8855 082-231-8855	月~金 10:00~16:00	〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル5F
山口県ユニセフ協会	DVD	083-902-2266 083-928-5416	月~金 10:00~16:00	〒753-0083 山口市後河原210番地
香川県ユニセフ協会	DVD	087-813-0772 087-813-0772	月・火・金 10:00~16:00、 水 14:00~18:00	〒760-0023 高松市寿町1-4-3 高松中央通りビル3F
愛媛県ユニセフ協会	DVD	089-931-5369 089-931-5369	月~金 10:00~16:00	〒790-0003 松山市三番町5-13-10 リパップビル201号
久留米ユニセフ協会	DVD	0942-37-7121 0942-37-7139	月・水・金 9:00~16:00	〒830-0022 久留米市城南町15-5 久留米商工会館2F
佐賀県ユニセフ協会	DVD	0952-28-2077 0952-28-2077	月・火・木・金 10:00~15:00	〒840-0054 佐賀市水ヶ江4-2-2
熊本県ユニセフ協会	DVD	096-362-5757 096-362-5758	月・水・木・金 10:00~14:00	〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目11-2 サンアイ水前寺ビル3F
宮崎県ユニセフ協会	DVD	0985-31-3808 0985-31-3808	月・火・木・金 11:00~16:00	〒880-0014 宮崎市鶴島2-9-6 みやざきNPOハウス202号
鹿児島県ユニセフ協会	DVD	099-226-3492 099-226-3492	月~金 10:00~15:00、 水 10:00~12:00	〒892-0842 鹿児島市東千石町14-2 メガネのヨネザワ5F

新型コロナウイルス感染症の感染状況、政府・自治体からの要請等によって、受付日時を変更することがあります。また年末年始等、別途お休みが入ることがあります。※貸出書籍もあり。貸出希望の方はお問い合わせください。

募金の送金方法

ユニセフ募金へのあたたかいご協力、誠にありがとうございます。集まりました募金は本冊子に綴じ込みの振込用紙をご利用のうえ、ゆうちょ銀行/郵便局の窓口からユニセフ募金口座(00190-5-31000)にご送金ください。郵便局に備え付けの用紙をご利用の場合も以下をご明記ください。代表の児童・生徒さんが郵便局に行き、自分たちの手で募金を送金するのも良い経験になるかもしれません。

※硬貨取扱料金を含め、送金に関わるすべての手数料が免除されます。

①金額欄に募金額をご記入ください。

②ご依頼人欄に以下をご記入ください。

- 郵便番号
- 学校・園名(領収書の宛名になります)
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス

※領収書の送付先を指定する場合は、ご担当者のお名前を書いていただくと、その方宛に送付されます。

③通信欄で募金の種類を指定できます。

通常募金(ユニセフ募金)の場合は何も記載しなくて結構です。

募金の使途を指定したい場合は、受付中の募金名(ウクライナ、新型コロナ、シリア、自然災害、アフリカなど)を通信欄の余白にご記入ください。

※受付中の緊急募金については、事前にホームページ上で必ずご確認くださいよう、お願いいたします。

緊急支援情報：www.unicef.or.jp/kinkyu/

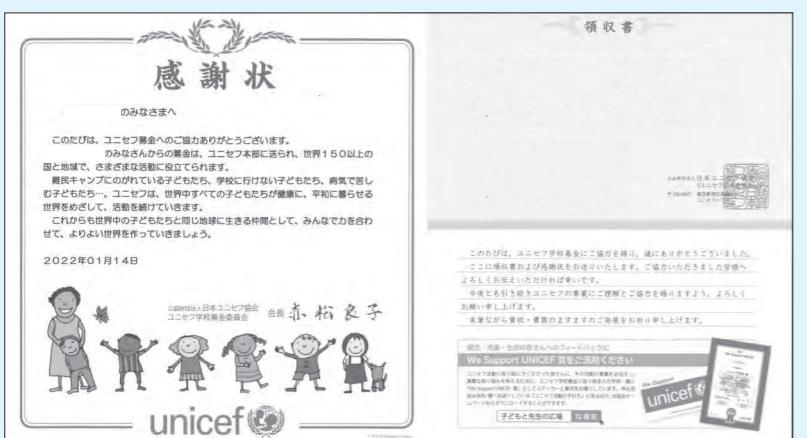
※支援ギフトの場合は、P.14の申込用紙でお申込みいただいた学校に専用の振込用紙をお送りします。

領収書と感謝状、「ありがとうポスター」をお送りします

募金の受領確認後、2週間程度で領収書および感謝状をお送りいたします。

また、A3サイズの「ありがとうポスター」も同封されますので、校内での掲示、全校集会等でのご報告にお役立ていただけますと幸いです。

※100円未満の募金の領収書発行はご容赦いただいております。領収書が必要な場合はお問い合わせください。また、10万円を超える募金など、複数回に分けて募金を振り込まれる場合に、合算した金額の領収書の発行をご希望の際は、お振り込みの前にお問い合わせいただけますと幸いです。(学校事業部:03-5789-2014)



●活動に参加された児童、生徒のみなさんへのフィードバックに「We Support UNICEF賞」もご活用ください。(→P.15)

動画紹介

令和4年度(2022年度) ユニセフ学校募金 春季資料

ユニセフ DVD学習教材



1



すべての子どもに、安全で持続可能な水と衛生を～気候変動への対応～
(3分25秒)字幕・日本語ナレーション

2



学校への爆撃、でも夢を追い続けるアフメド君(イエメン)
(1分57秒)字幕

3



栄養不良から回復し、元気になったエリック君(グアテマラ)
(2分29秒)字幕・日本語ナレーション

4



シリア紛争10年～片足をうなったサジャさんの夢、その後～
(4分35秒)字幕

5



バーチャル社会科見学!
～ユニセフの支援物資倉庫を見てみよう～
(2分25秒)字幕・日本語ナレーション

6



unicef × Fridays For Future～気候変動に挑むユースたち～
(7分41秒)字幕

7



あなたはどんな未来をえがきますか?～SDGsが生まれた背景とこれから～
(6分00秒)字幕・日本語ナレーション

8



ユニセフと地球のともだち
(13分26秒)字幕・日本語ナレーション

9



絵本「ユニセフとえがおのひみつ」読み聞かせ
(10分56秒)字幕・日本語ナレーション

10



100円の旅
(1分56秒)字幕

例えは100円の募金…その募金がどのように使われているのかを紹介するアニメーションです。募金活動の前や後に見ることで、ユニセフ募金について理解を深めることができます。

ユニセフDVD学習教材に収録の動画は、
バックナンバーも含め、「子どもと先生の広場YouTubeチャンネル」
からご視聴いただけます。

子どもと先生の広場
YouTubeチャンネル



unicef

for every child



今年もWe Support UNICEF賞をお贈りします。
ぜひお申し込みください。詳細はP.15をご覧ください。

公益財団法人
日本ユニセフ協会

〒108-8607

東京都港区高輪 4-6-12 ユニセフハウス

📞 03-5789-2014 📞 03-5789-2034

✉ se-jcu@unicef.or.jp

💻 www.unicef.or.jp

2022年4月 発行

